

平成 30 年度「第 1 回ケアラーズ交流会」開催報告

【日時】平成 30 年 5 月 25 日（金）14：00～16：00

【場所】集い場 木かげ（住吉商店街）

【参加】ケアラー 4 名、ケアラーサポーター 1 名、一般市民 3 名（うち介護経験者 2 名）
長崎市南部地域包括支援センター 1 名
医歯薬学総合研究科 井口教授
ダイバーシティ推進センター 内野介護コンシェルジュ

今年度のケアラーズ交流会の会場は昨年度同様、人の流れが多い住吉商店街地区で地域の方が気軽に集える場（地域の縁側）作りに取り組んでおられる「集い場 木かげ」をお借りしました。

平成 30 年度第 1 回ケアラーズ交流会を上記のとおり開催いたしました。今回は、ケアラー 4 名が参加され、ケアラーサポーター 1 名、以前家族介護を経験された方 2 名が参加されました。また、南部地域包括支援センターの介護支援専門員 1 名にご協力いただきました。ケアラーのみなさんは、日々の介護を一生懸命にされており、それぞれの悩みや思いをじっくりお話しでき、笑いがあったり、情報交換する機会となりました。家族介護経験者の方が、助言して下さる場面も多く、笑いの多い会となりました。会の中で「介護について話す場もなく、要介護者との二人暮らしだと息抜きしたくなることも、逃げ出したくなることもあるから、このような場が有難い」というケアラーの言葉が印象的でした。

アンケートでは、参加者全ての方が「参加して大変よかった、よかった」と回答され、自由記述欄には「悩みは自分だけではない、前向きにいこうと思った」「いつも素晴らしい情報をいただき感謝している」「みなさんの気持ちが聞けて良かった」等の感想やご意見がありました。ご協力いただきましたみなさま、ありがとうございました。

長崎大学ダイバーシティ推進センターは、介護者が孤立することなく、介護者とともに社会参加できるよう、また介護を 1 人で抱え込まないように、介護者が持つお互いの悩みや解決策の情報交換の場を作り、地域のケアラーの孤立を防ぎ精神的な支えとなるコミュニティの形成ができるよう、地域のみなさまのお力をお借りしながら取り組んでまいります。この交流会が、お互い助けあえる場、支えあえる場として根付き、参加されたみなさまがほっとして帰ることのできる場となるよう、今年度は 6 回開催してまいります。

